



リユース Eco プロジェクト写真 (詳細 8p)

## 目次

館長の任期を終えて	1
僕の私の愛大図書館活用法	2
中央図書館おすすめスポットはココ!	3
報告: 2011/12~2012/3 のできごと	5
電子ジャーナルの検索画面リニューアル	9
図書館からのお知らせ	10
図書館日誌	11

## 館長の任期を終えて

法文学部教授 小淵 港

除籍図書の有効活用のために、2010年2月から「ブックリユース」を実施したところ、7割から8割が引き取られるほど好評であった。実施にあたって、他大学では利用率が高かったと聞いてはいたが、内心心配であった。実際にはリユース初日の午前9時半には、図書館2階の会場前に希望者の行列ができるほどであった。熱心に本を探す大勢の学生たちの姿を見ていると、感慨深いものがあった。

情報化の波の中で、大学図書館も大きな変化にさらされてきた。電子ジャーナルの普及は、最も大きな変化だったと言ってよいだろう。電子ジャーナルは保存が容易で、利用者にも便利である。しかし少数の大出版社による販売独占のため、購読価格の高騰という問題があり、各大学図書館は対応に追われてきた。本学の電子ジャーナル利用件数は、05年から09年の間に約50%増加しており、研究活動の活発化を裏付けるものとして喜ばしい。同時に、購入費も同じ期間に20%以上増加しており、対応を迫られている。

一方、電子書籍化は、わが国では出版社や書店、著作者の事情等があつて今のところ足踏み状態だが、既に米国ではグーグルやアマゾンによる電子書籍販売は相当の規模に達している。最近の報道では、日本でも講談社、大日本印刷など出版・印刷大手が中心となって今年4月に新会社を設立し、

「電子書籍百万点」をめざすとのことであり、一挙に電子書籍化が進む可能性が出てきた。その時、大学図書館がどうするか、対策はこれからである。予想される場所では、図書館が電子書籍取り次ぎ会社・書店から書籍を購入し、蔵書として電子書庫の中に保管する。利用者には、図書館所有の電子端末に入力して、電子端末そのものを貸し出す。期限がくれば端末を返却する、ということになりそうである。冊子体の本の貸し借りとよく似たやり方である。愛媛大学の年間貸し出し冊数は7万8千冊であるから、このやり方では数百台の端末を窓口を用意し、職員は端末への入力と消去に追われることになる。借りて帰って読もうとしたら、端末が不具合で画面が出ない、故障はどちらの責任かなど、色々な問題が起こりそうである。他方、物理的な保管場所は必要なくなり、書庫の狭隘化問題は解消され（冊子体を購入しないとすれば）、重たい本の運搬も分類ラベルの貼付も必要なくなるという利点も生まれる。いずれにしても、図書館のあり方とそこで働く職員の仕事は大きく変わるに違いない。

愛媛大学図書館のこれからが気にかかるなか、3月末で任期満了を迎えた。図書館長としての3年間、ご協力を頂いた職員をはじめとする皆さんに心よりお礼申し上げたい。

新人生歓迎企画



# 愛大図書館活用法



在学生のみなさんにお気に入りの場所を聞いてみました。4 ページの中央図書館マップに場所を示しているので探検してみてくださいね。あなたもお気に入りの場所、お気に入りの使い方を見つけてみませんか？

本棚と本棚の間にある一人用ソファーが便利で、癒しの空間でもあります。(農学・2 回生)



密かに大人気の

ひとりがけソファー

4 階の新聞コーナーです。最上階ということもあり、人通りが比較的少なく、静かに時間を過ごすことができます。様々な新聞のバックナンバーを閲覧することができるので、事前に目当ての記事を調べておいてそれを探するのはもちろん、私は気になる連載記事を、順を追って一気に読むことができるので重宝しています。また他社の新聞と比較してみるのも面白いと思います。空き時間をつぶすのにも、時事の復習になってためにもなるのでお気に入りの場所です。(法文・2 回生)

3F3,4 閲覧室の本棚の所にある椅子は、壁際に設置してあるので落ち着いて本を読むことができます。(法文・1 回生)



あちこちにあります

コピー機の横のソファーは、雑誌を読むのに最適です。(教育・2 回生)

大学内で一番空調が良くて静かなので、空きコマ時や次の時間がテストの時などは、図書館へ行って勉強しています。(法文・1 回生)

4 回生が卒業論文を書く時期になると、3 回生と 4 回生を対象に 24 時間図書館が利用することが便利です。(農学・2 回生)  
残念ながら中央図書館ではできません。

場所はナイショです(^-^)  
頑張ってたどり着いてくださいね



私の図書館おすすめスポットは、書庫 4 階の隠し部屋です！！その部屋は 4 階に存在しながら、4 階からはたどり着けないようになっています。普段書庫に入らない方はぜひ、探検も兼ねて隠し部屋を探してみてください (法文・2 回生)

新入生歓迎企画

あなたはどのタイプ？勝手にチャート  
中央図書館おすすめスポットはココ！

1  
やっぱ勉強がんばりたい  
YES にすすむ  
NO にすすむ

2  
友達と一緒にだと勉強がはかどる  
YES にすすむ  
NO 4F1 閲覧室

3  
計画的である  
YES グループ学習室  
NO



4  
ニュースサイトを1日に3回  
以上必ずチェックする  
YES 新聞コーナー  
NO



5  
景観を楽しむタイプだ  
YES 子規の部屋  
NO

6  
今すぐ冒険したい  
YES 書庫  
NO

7  
教養を身につけたい  
YES マルチメディアコーナー  
NO 子規の部屋

 次ページの中央図書館マップを片手に、おすすめスポットを確認してみよう！

**あなたは4F1 閲覧室タイプ** \*この場所は、図書館の中でも特に静かな環境が保たれている閲覧室です  
静かな場所で集中して勉強したいあなた。この閲覧室で、レポートやテスト勉強に励んでみてはいかがでしょうか。



**あなたはグループ学習室タイプ** \*この場所は、事前予約が必要な、グループ活動のための個室です  
友達と一緒に活発に勉強したいあなた。グループでのミーティングや討論に、ぜひご利用ください。



**あなたは新聞コーナータイプ** \*この場所では、当日の新聞12誌が閲覧できます  
新しもの好きで情報に敏感なあなた。ここで毎日、日本や外国の最新動向をチェックしてみよう。



**あなたは子規の部屋タイプ** \*この場所は、図書館の中で唯一、友達とお話しながら勉強できる閲覧室です  
のんびり大学生活を楽しみたいあなた。子規の部屋に行って、友達と一緒にのんびり楽しく勉強しよう。



**あなたは書庫タイプ** \*この場所は、6層からなり、比較的古い図書や雑誌が置いてあります  
マイペースで冒険好きなあなた。迷路のような書庫の中にある資料が、新たな扉を開いてくれるかも。



**あなたはマルチメディアコーナータイプ** \*この場所では、図書館備え付けのDVDを視聴できます  
雑学や文化的なことに興味のあるあなた。ここで、映画やドキュメンタリーを見て、自分の教養を広げてみよう。





# 報告

## 2011/12~2012/3のできごと

### 三輪田米山展記念講演会「米山石文・幟探訪」 三輪田米山の書による「六曲一双屏風」のお披露目除幕式

実施場所 愛媛大学グリーンホール  
 実施日時 平成23年12月11日(日) 13:30~15:30

三輪田米山(みわだ べいざん)は、伊予松山の神官で書道家であり、全国にその豪快な書の熱狂的なファンが多くいます。

愛媛大学では、ミュージアムにおいて、第2回三輪田米山展として展覧会「米山仮名の美」を平成23年9月7日(水)~平成24年3月31日(土)に開催しましたが、今回の記念講演会はこれにあわせて行ったものです。

会場には、県内外から書道ファンら約200人がつめかけ、著名な書家であり米山研究家でもある横田無縫(よこた むほう)氏の語る、愛媛県内に点在する米山の石文や幟を探訪する際の苦労話や歓びについて、耳を傾けました。

また、講演会開始前には、愛媛大学が新たに所蔵することとなった三輪田米山の書による「六曲一双屏風」のお披露目の除幕式を行い、初めて存在が明らかにされた三輪田米山の秀作を披露しました。



<お披露目された屏風>

参加者からは、「時間が足りない。もっとゆっくり鑑賞したい。」など、来年以降の三輪田米山展に期待する声が多く寄せられました。



<会場風景>



## 平成23年度愛媛大学図書館学術講演会

実施場所	愛媛大学図書館 4F 視聴覚室
実施日時	平成24年1月23日(月) 13:30~15:30
プログラム	第一部 『著作権と機関リポジトリ』をテーマとする学術講演 第二部 『機関リポジトリと著作権—著作権実習』

図書館では、毎年図書館活動の活性化と職員のスキルアップを図るべく学術講演会を開催しています。25回目となる今回はDRF（デジタルリポジトリ連合）の協力のもと、講師を派遣いただき、学術講演会と実習を開催しました。

第一部の講師である千葉大学附属図書館の森一郎（もり いちろう）氏は、大学図書館界での著作権についての第一人者です。機関リポジトリ運用にあたっての著作権処理の問題等、様々な角度から分かり易い講演をいただきました。



<熱心に話を聞く参加者>

第二部の講師である神戸大学附属図書館の末田真樹子（すえだ まきこ）氏には、DRF事業の「機関リポジトリ新任担当者研修」で「著作権概論・実習」の講師を担当された縁で、今回の講師を依頼しました。『機関リポジトリと著作

権—著作権実習』では、iPadやノートパソコンを使用しての検索を実施し、また、具体例のQ&Aを交えるなどして、今後著作権処理を担当する職員に有意義な実習が行われました。



<実習の様子>

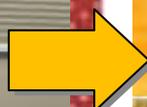
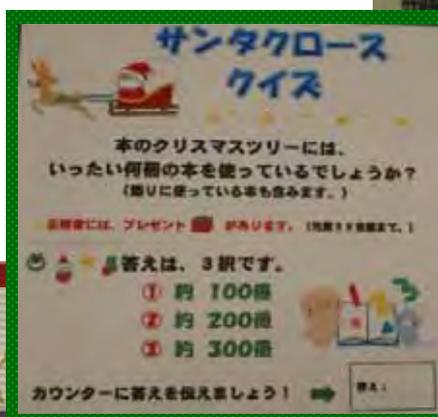
今回の学術講演会には、県内七機関の図書館職員や著作権に係わる業務を担当する職員、機関リポジトリ・著作権等に興味を持つ教員等、計35人が参加しました。

講演後には、機関リポジトリの著作権処理について質疑応答が行われ、講師の方から適切なアドバイスをいただくなど、今後の機関リポジトリ運営について非常に熱心なやりとりが交わされました。

# クリスマス2011 Bookツリー&サンタクイズ

実施場所 中央図書館 2階特設コーナー  
実施日時 平成23年12月18日(日)～23日(金)  
参加者 97名 (正解者71名)

クリスマスに、廃棄予定の本を使って  
BOOK ツリーを作成・展示しました。  
このBOOK ツリーに使った本の数を当てる  
三択問題のクイズを開催し、  
正解者にプレゼントを差し上げました。



クイズの正解は約200冊です。

## 第3回ブックリユースEcoプロジェクト実施

実施場所	中央図書館・農学部分館
実施日時	平成24年1月26日(木)～27日(金) (農学部分館) 平成24年2月14日(火)～24日(金) (中央図書館)

受入から20年以上が経過した蔵書のうち、重複や改版等により不用となった廃棄図書の再利用を目的として平成21年度に始まったこの「ブックリユースEcoプロジェクト」ですが、今年も愛媛大学の教職員や学生を対象に行われました。毎回好評をいただいているこのプロジェクトですが、今やすっかり年度末の風物詩となってきた感があります。

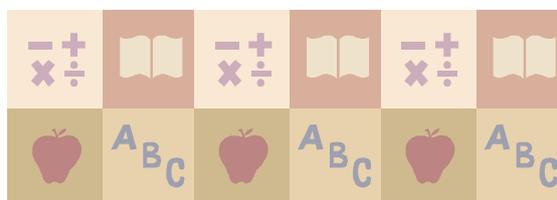
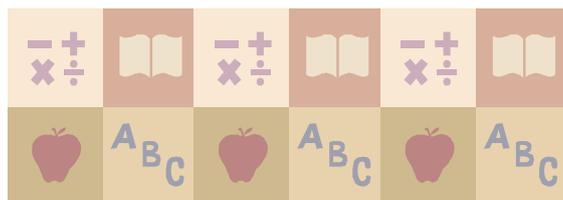
3回目となった今回は、初めて農学部分館でも行われました。開催期間は1月26～27日の2日間。2,000冊ほどの図書が並べられ、うち840冊が引き取られました。

また、中央館では2月14日から2週間に渡って行われました。今年も各週初日の朝9時半には開場を待つ利用者の列が並び、開始早々から次々とたくさんの図書を持ち帰る姿が見られました。

今回は、農学部分館での開催時に残った図書を中央図書館へ移動させて再度並べたのですが、農学部分館での開催時に間に合わなかったからと、樽味キャンパスからこられた方々もいらっしやったようで、それらの図書も続々と次の持ち主の元に旅立ち、最終的に中央館では合計5,626冊が譲渡されました。



<農学部分館の様子>



<中央図書館の様子>

# 電子ジャーナルの検索画面リニューアル

平成24年1月18日から電子ジャーナルの検索画面が変わりました。

URLも変更になりましたので、インターネットブラウザの「お気に入り」に追加している場合は、

<http://www.tdnet.com/ehime>

に変更をお願いします。

新しい画面は下のようになります。

《検索画面》



《一覧画面》



各種文献データベース

(Agricola, CINAHL(EBSCOhost), Cinii Articles, ERIC, Google scholar, SciFinder, 愛媛大学版 PubMed, SciVerse Scopus, SwetsWise, 医中誌 Web, 各種電子ジャーナル など)

の からの連携画面は下のようになります。



## 図書館からのお知らせ

### 《中央図書館》

#### 大学院生のための図書館ガイダンス 『1時間で文献入手』

研究には先行研究の調査が欠かせません。

図書館資料をとことん使って効率的に資料を集めてみませんか？

開催日時（①～⑩は同じ内容）

月/日 時間	4/9 月	4/10 火	4/11 水	4/12 木	4/13 金
10:30~ 11:30					
15:00~ 16:00					

申込期限日：前日まで

申込窓口：中央図書館 2F サービスカウンター

又は電子メール

電話：089-927-8849

メールアドレス：gakujuitsu@lib.ehime-u.ac.jp

（件名）ガイダンス申し込み

（本文）代表者氏名・参加希望日・時間・人数

申込用 QR コードです  
携帯電話・スマートフォンでの  
申込にご利用下さい。



持参物：図書館利用案内・利用ガイド

ご注意：申し込みのない日は実施しません。

また、平成 24 年度・前学期 教育学研究科「学校教育の今日的課題」の授業中に同内容を行います。

予定日：4月24日（火）

## Twitter 始めました

愛媛大学図書館からの情報をより広く知ってもらうため、Twitter による情報提供の試行をはじめました。ホームページとあわせてご利用ください。

《URL》 <http://twitter.com/#!/Ehime Univ Lib>



## 図書館だより電子化のお知らせ

愛媛大学図書では、館報「図書館だより」を、初号から電子化してインターネット上で順次公開することとなりました。現在全ての号をPDFでご覧いただけます。

しかし、本誌に掲載された記事等の著作権につきましては、第69号以前の規定においては明示されていません。「図書館だより」の電子化・公開を進めるにあたり、著作権について愛媛大学図書館が著作権者から委譲を受けていることが必要ですので、該当される方々にご理解とご協力のほどお願い致します。

なお、著作権が当館に帰属しても、著作自身の利用を妨げるものではありません。著作権を愛媛大学図書館に委譲することに同意されない著者（または相続権を持つ遺族）の方は、愛媛大学図書館館報編集委員会へメール ([webmaster@lib.ehime-u.ac.jp](mailto:webmaster@lib.ehime-u.ac.jp)) もしくは郵送（宛先は下記にあります）にてお申し出ください。該当記事を非公開といたします。

### 図書館日誌

- 12月7日 学生(サポーター・インターン・アルバイト)との交流会 (生協食堂 2F リーセス)
- 9日 中四国所管部課長会議 (岡山大学)
- 11日 三輪田米山展記念シンポジウム (グリーンホール)
- 1月4日 蔵書点検 (参考図書)
- 19日 次世代リーダー養成研修 (高知大学) ~21日
- 23日 平成23年度愛媛大学図書館学術講演会「リポジトリの著作権」(愛媛大学図書館)
- 26日 農学部分館：除籍図書リユース ~27日
- 2月3日 平成23年度講師養成研修
- 14日 リユースEcoプロジェクト ~24日
- 16日 できる大学図書館広報術ワークショップ (広島大学)
- 17日 中国四国地区協会事業委員会総会 (広島大学)
- 3月19日 図書館委員会

愛媛大学図書館「図書館だより」第92号 2012年4月1日発行

編集：館報編集委員会

発行：愛媛大学図書館 〒790 - 8577 松山市文京町3番 TEL (089)927 - 8845